

議会だより

村民を魅了する おたりっこ129人のハーモニー



議長就任あいさつ・議会構成……………②

補正予算・報告事案等を審議・5月臨時会・6月定例議会……………③

村長提出議案・請願・陳情……………④

委員会報告……………⑤

村政を問う……………⑥～⑬

わたしのひとこと(吉岡 久人さん・吉澤 学さん)……………⑭

議長就任挨拶

議会議長 宮澤 正廣



「暮らしてみたい村創り」

このたび、議員改選後の初議会において、議長に就任いたしました。

元より浅学非才の身ではありませんが、小谷村のために、また小谷村を担っていく若者たちのために邁進していく所存です。

さて、議会は行政の事業実施、事務処理等が公正かつ効率的に執行されているかチェックする重要な機関であり、村創りの方向を見据え、適度な距離を保ちつつ、連携を深め「安心安全で住みよい村」「暮らしてみたい村」創りのために議

論をしまいいりたいと存じます。現在、小谷村を取り巻く課題は多く、北小谷に建設予定の加工貯蔵施設、梅池村営住宅、54プロ、観光再生事業等の対応はもとより、少子高齢化、行財政改革、経済の活性化等が数多くあり、常に住民の声をつづぶさに聞き、住民の立場になって負託に応えられる議会の代表として責務を完遂できるようながんばる所存であります。

これからは、議会の円滑な運営と魅力ある小谷村の建設のために、より一層の努力をさせていただきます。



また、本年の村議会議員の選挙は、定数10名に対して9名と、1名欠員で議会運営が始まりました。来年4月に行われる村長選挙に合わせて議員補欠選挙が実施されます。

村議会の活動に皆様のご指導とご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。そして就任のご挨拶といたします。

議会構成

議会運営委員会

(議会運営・諸規定等担当)

委員長 北村 利幸

副委員長 太田 武彦

委員 藤原 賢司

委員 曾根原 恵子

委員 宮澤 正廣

委員 猪股 充拓

委員 藤原 賢司

委員 吉岡 久人

委員 吉澤 学

委員 猪股 充拓

委員 横澤 かつ子

委員 北村 利幸

委員 曾根原 恵子

委員 宮澤 正廣

委員 猪股 充拓

委員 藤原 賢司

委員 吉岡 久人

委員 北村 利幸

委員 曾根原 恵子

委員 宮澤 正廣

委員 猪股 充拓

委員 藤原 賢司

委員 吉岡 久人

委員 北村 利幸

委員 曾根原 恵子

委員 宮澤 正廣

委員 猪股 充拓

委員 藤原 賢司

委員 吉岡 久人

委員 北村 利幸

委員 曾根原 恵子

議会広報委員会
委員長 猪股 充拓
副委員長 曾根原 恵子
委員 吉岡 久人
委員 北村 利幸
委員 横澤 かつ子

SPF豚畜産環境対策協議会
委員 猪股 充拓
委員 横澤 かつ子

経済委員会
(観光・農林・治山・建設・上下水道・特産等担当)
委員長 曾根原 恵子
副委員長 吉澤 学
委員 北村 利幸
委員 横澤 かつ子
委員 宮澤 正廣

北アルプス広域連合議会
議員 宮澤 正廣
議員 猪股 充拓

環境・福祉・医療・税務・消防・防災・教育等担当
委員長 藤原 賢司
副委員長 吉岡 久人
委員 猪股 充拓
委員 太田 武彦

監査委員 吉澤 学
消防委員 吉岡 久人
委員 吉澤 学

総務委員会
(環境・福祉・医療・税務・消防・防災・教育等担当)
委員長 藤原 賢司
副委員長 吉岡 久人
委員 猪股 充拓
委員 太田 武彦

国保運営協議会委員
吉岡 久人
曾根原 恵子

議員 猪股 充拓
議員 藤原 賢司
議員 吉岡 久人
議員 吉澤 学

議員 猪股 充拓
議員 藤原 賢司
議員 吉岡 久人
議員 吉澤 学

議長 宮澤 正廣
副議長 猪股 充拓

議員 猪股 充拓
議員 藤原 賢司
議員 吉岡 久人
議員 北村 利幸
議員 太田 武彦
議員 藤原 賢司
議員 曾根原 恵子

補正予算・報告事案等を審議

5月臨時会

件名	内容	審議結果
損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	除雪作業中の電柱破損、役場駐車場で車両破損の賠償。	(報告のみ)
売買契約締結の専決処分報告(トレーラーハウス1台の購入)	金額:848万8,800円 契約先:(株)カンバーランド・ジャパン	承認 (全員賛成)
小谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	国保制度の財政責任主体に長野県を追加、平成30年度税制改正に伴う改正。	可決 (全員賛成)
小谷村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法施行令の改正に伴う改正。	可決 (全員賛成)
小谷村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	政令の施行に伴う改正。	可決 (全員賛成)
平成30年度小谷村一般会計補正予算(第1号)	1,200万円追加 総額57億200万円 営農倉庫設計、社会体育館修繕 ほか	可決 (賛成多数)
小谷村監査委員の選任について	松澤 米雄氏(梅池南) 吉澤 学氏(議会推薦)平成30年5月10日から	同意 (全員賛成)

6月定例会 ●専決処分報告

件名	内容	審議結果
平成29年度小谷村一般会計補正予算(第12号)	1億8,800万円減額 総額 71億円	承認 (全員賛成)
平成29年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	4,200万円減額 総額 4億4,580万円	承認 (全員賛成)
平成29年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第5号)	502万円減額 総額 9,698万円	承認 (全員賛成)
平成29年度小谷村簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)	750万円追加 総額 1億310万円	承認 (全員賛成)
平成29年度小谷村公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	40万円減額 総額 9,420万円	承認 (全員賛成)
平成29年度小谷村農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	110万円減額 総額 8,080万円	承認 (全員賛成)
平成29年度小谷村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告	70万円減額 総額 3,920万円	承認 (全員賛成)
小谷村税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	地方税法の一部改正に伴う改正	承認 (全員賛成)

●一般報告(報告のみ)

件名	内容
平成29年度小谷村一般会計繰越明許費繰越計算報告	11事業 3億1,176万2,000円を次年度へ繰越
平成29年度小谷村一般会計事故繰越し繰越計算報告	伊折水路、平間下水路 1億2,500万4,600円を次年度へ繰越
出資法人の経営状況報告 (株式会社 道の駅おたり)	総売上額 2億8,362万円(前年比95%) コストダウンにより純利益225万5,000円
出資法人の経営状況報告 (株式会社 おたり振興公社)	サンティンおたり 6,712万円(前年比104.0%) 雨飾荘 5,023万円(前年比105.4%) 梅池山荘 4,923万円(前年比110.1%) ビジターセンター(自然園) 1,748万円(前年比 99.3%)

件名	内容
出資法人の経営状況報告(株式会社 おたり振興公社)	キャンプ場・ぶな林亭 1,137万円(前年比同額)
平成29年度小谷村教育委員会事務事業の点検及び評価報告	公営おたり塾の運営、中学生海外交流(台湾)、稀少チョウの住民協働による保護活動、スポーツ振興 など

●議案

件名	内容	審議結果
小谷村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	北アルプス広域連合によるごみ処理開始に伴う改正	可決 (全員賛成)
小谷村野外活動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	池の田グリーンスポーツキャンプ場の利用料を変更	可決 (全員賛成)
小谷村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童クラブの支援員資格の改正	可決 (全員賛成)
平成30年度小谷村一般会計補正予算(第2号)	1億300万円追加 総額 58億500万円 自然園トイレ建設工事増額、小谷中屋根工事増額	可決 (全員賛成)
平成30年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	150万円追加 総額 3億6,150万円	可決 (全員賛成)
平成30年度小谷村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	20万円追加 総額 9,680万円	可決 (全員賛成)
平成30年度小谷村公共下水事業特別会計補正予算(第1号)	60万円追加 総額 1億230万円	可決 (全員賛成)
工事請負契約の締結について(山村地域資源高度活用促進施設 交流センター改修工事)	交流センターちゃんめろ改修 金額:5,940万円 契約:金森建設(株)小谷営業所	可決 (全員賛成)
北アルプス広域連合規約の変更について	大北福祉会館の名称を北アルプス市町村会館に変更。北アルプスエコパークに関する事項を追加。	可決 (全員賛成)
売買契約の締結について(小型ポンプ積載車1台購入)	金額:777万6,000円 契約:(株)松本中信防災	可決 (全員賛成)
売買契約の締結について(除雪ドーザー16t級1台購入)	金額:2,127万6,000円 契約:糸魚川重機工業(株)小谷営業所	可決 (全員賛成)
売買契約の締結について(小谷小学校パソコン整備事業)	金額:2,373万8,400円 契約:(株)マルマツ	可決 (全員賛成)
教育委員会委員の任命について	太田 明 氏(千国) 平成30年7月1日から	同意 (全員賛成)

●議員発議

件名	内容	審議結果
小谷村議会委員会条例の一部を改正する条例	常任委員会に議会広報委員会を追加。	可決(全員賛成)

請願・陳情

付託委員会	件名	提出者	審議結果
総務委員会	憲法9条改定と「緊急事態」条項を含む改憲案の国会発議に反対する意見書提出に関する陳情	白馬・小谷9条の会 事務局長 速水 政文	不採択 (賛成多数)
経済委員会	柵池村営住宅の建設計画に関する陳情書	小谷村建築業者協会 協会長 宮澤 富雄	採択 (全員賛成)
総務委員会	長野県池田工業高校への支援に関する陳情書	長野県北農・池田工業高校同窓会 会長 宮澤 敏文	採択 (全員賛成)

*1) 採択された陳情は、村長に送付された。

委員会活動報告

総務委員会

「リーベおおまち」視察

6月11日（大町市）

特別養護老人ホームが開所した。総定員は58名、従来型個室42床（内短期入所8床）、多床室4人部屋4室（合計16床）、他浴室。良質なケアのあり方を、広域連携で奨める必要がある。

大町市八坂山村留学視察

八坂・美麻の山村留学は、「公益財団法人育てる会」が施設（八坂美麻学園）を所有して運営し、現在指導者7名、子ども一人月謝約8〜9万円、市の農家支援などの助成を受けている。留学制度には、春夏秋冬休みを利用した短期山村留学と、1年間、ホームステイをする長期山村留学。

経済委員会

54プロジェクト協議会

5月21日

高齢者向け見守り住宅建設候補地の説明と今後の全体構想を検討した。

農業再生協議会総会

6月5日

組織改正を議題。今年度から営農支援センターを母体とし、事業は「再生協議会」「受託組合」「営農指導」の3部門での構成とする。ジビエを広め地域の宝に

松本平 ジビエ加工施設視察

6月11日（松本市）

獲物を仕入れ解体・加工、商品に仕上げる工程を視察。猟師が捕獲したシカやイノシシは一部利用し、ほとんどが埋葬されているのが現状。「ジビエ」として有効活用できないか、鳥獣被害が深刻な小谷村でも課題となっている。

山崎商店代表は地元出身の42歳。夢実現のため準備

議会運営委員会

検討事項

- 1・休日・夜間議会
- 2・月1回以上の全員協議会
- 3・村民との意見交換会
- 4・会議等議員出席枠の整理改革
- 5・事務局体制の改革
- 6・庁舎内に村民憩いの場
- 7・庁舎内の議会中継

項目ごとに議論を深めている。昨年は1回目の夜間議会を実施した。

全員協議会は毎月実施、「村民との意見交換会」は各委員会ごとにテーマを決めて提案し実現に向け進めていく。

「村民憩いのスペース」は多目的ホール玄関に完成し、村民の皆さんに利用されている。

ご意見等、お寄せください。

（委員長 北村 利幸）



「リーベおおまち」古民家風リビングフロア

議会基本条例の検証

6月15日（小谷村）

今回の村議会選挙定数割れの現状を踏まえ、基本条例の検証について検討した。（委員長 藤原 賢司）



工夫された器具と清潔な加工室



に6年かけ、施設を造り、自身で解体から加工まで手がけている。まだ1年だが、獲物を商品として扱うため猟友会、料理を提供する飲食店など、いい関係を築いている。将来的目標も地域活性化、流通や雇用と視野が大きい。プレハブの施設に工夫した器具を置き清潔さを保っている。
* ジビエとは
狩猟した野生鳥獣の食肉を意味するフランス語
（委員長 曾根原恵子）

村政を問う

30年6月定例議会一般質問

【一般質問は、定例議会において質問通告書を提出し、1時間の制限で執行機関に疑問点や所信を問います。CATVで公開されていますが、議会傍聴に来ませんか。】

〈質問項目〉（質問順）

1、横澤かつ子	議員	①村内再開発（里見地区）事業計画について	（7ページ）
2、吉岡 久人	議員	①議会選挙について ②伝統文化の継承の充実 ③全国棚田サミットについて	（8ページ）
3、猪股 充拡	議員	①将来を見据えた村としての少子化対策について ②特産品としての小谷の野豚について	（9ページ）
4、吉澤 学	議員	①白馬乗鞍地区観光再開発事業について ②東側一帯の活性化について ③子育て支援について ④特産推進について ⑤バイオマス事業について	（10ページ）
5、藤原 賢司	議員	①過去7年の成果と任期残り1年の目標 ②簡易水道の現状と今後の対応 ③小谷村の植物について ④子育て支援システムについて	（11ページ）
6、北村 利幸	議員	①有害鳥獣駆除対策とジビエ振興について	（12ページ）
7、曾根原恵子	議員	①住民参加でくらし・産業を元気に ②全国棚田サミット開催 村民参加で成功を	（13ページ）

【＊ 一般質問のページは、質問議員が各自で作成をしています。】

「検討する」の回答はどうなったか？

【質問に「検討する」とした回答は、1年間検討後に村長より再回答されます。】

〈質 問〉

[29年6月]

- 新加工貯蔵施設、資源活用と雇用拡大は、人材のトップは
- 白馬高校通学費の援助を
- 有害鳥獣の解体加工処理施設を

〈再 回 答〉

[30年6月]

- ◆経営計画の検討中。そのつど進捗状況を報告する。
アドバイザー等関係者の紹介・人材バンク情報等で人材確保を。
- ◆高校に在学するすべての生徒に3万円の助成制度を創設した。
- ◆村内3地区猟友会からの要望がある。課題もあわせて検討する。

村内再開発「里見地区事業計画について」



横澤かつ子 議員

問 『㈱おたりアセット』設立の目的は。(小谷村より1000万円出資)

答 村長 「遊休不動産」を会社で取得、再開発をすることが一番の目的である。

取得した土地をどのように開発すれば国内外から集客できるかを考えた時、村内にある古民家を有効利用することで同地区の旅館・ロッジの皆さんへの新たな集客を図ったり、宿をやめても再開発施設での雇用を確保することができると考

問 里見地区住民との意見交換及び詳細についての説明会の実施は。(2月24日第1回実施済み)その後の説明会は。

答 村長 現在の里見地区の世帯数は30世帯。2月15日に第1回以降、6月6日に第2回目説明会。

問 『㈱おたりアセット』の事業開始はどのような形で動き出すのか伺う。

答 村長 里見地区の遊休不動産について、現状では所有者個々に売却の意思を確認している。結果10区画以上の土地が取得でき、全体の配置計画を含め、事業の採算に合うと判断したとき不動産の取得に

着手する。
問 再開発には相当なりリスクが生じると考えるが。

答 村長 リスクを減らすためにまずは10区画以上の土地を取得することがあげられる。再開発を行う場合、ホテルや飲食店を整備し、その道で実績のある者の知恵を借りて、村直営ではなく民間感覚で進めることしか可能性がないことから考えた。取得した建物が担保になり金融機関も最初から村に担保を求めない。村はあくまでも株主である。村の責任は限定的になる。

問 再開発をするのに何カ年の計画を考えているのか伺う。

答 村長 不動産取得に1年から1年半。古民家の移築に1年から3

年。運営会社の設立は早くて3年後。整備完了が5年後。村の支援終了が10年後。

問 住民説明会が一方的で『上から目線』と感じられた。もう少し住民

答 村長 説明会の遅れと一方的となった説明について陳謝します。

に寄り添った形で説明をしてほしかった。



古民家を移築しリゾート化する計画の里見地区

議会選挙について



吉岡 久人 議員

問 今回から選挙葉書の受付は大町郵便局。車両検査は来年から大町警察署とのことだが、立候補者が出馬しやすい体制を。

答 村長 郵政民営化の平成19年から大町局に移ったもので、以前はご厚意で担当が出向いて南小谷局で実施。車両検査も同様に役場前だった。村として以前と同様にしていただけよう関係機関に働きかけたい。

問 小谷民謡保存会は、塩の道祭りで当初から出発と到着地で甚句を踊り、道中で馬方節を唄い、

千国神社で小谷民謡を披露してきた。会員は現在17人。道中は尺八奏者の激減で2班が現在1班のみ。村無形文化財の6曲（H10年8月17日指定。馬方節は元唄と2曲。酒造り唄は作業工程で5曲の合わせて全11曲）の継承も大変厳しい。松川村は正調安曇節を会長に副村長を当て、会員約300人で村一丸で守っている。小谷はできないか。役場職員のサークルに保存部を作って、村PRのツールの一つとしては。

答 村長 活動費を文化財保護事業補助金としているが、会員の高齢化で後継者育成も進まないことから、以前にカセットテープ録音した民謡集をCD100枚作成し、



塩の道祭り 杵掛にて（H15年頃の1班）

後世に残す取り組みを始め、1枚2千円で教育委員会で販売中。本年度、尺八講座を企画したが、講師と調整がつかず再検討している。今後の振興策として公民館講座による継承者の育成や一般村民に広く認知して貰える音声告知放送で流すとか、CATV文字放送のBGMとして流すなど民謡CDの活用を検討したい。職員は個々に文化的活動を含め、野球・バレー等さまざまなことに参加している。サークル化しての強制は考

えておらず、興味を持って自発的に民謡を習うことは大いに歓迎したい。

全国棚田サミットについて

問 盛り上がり小さいが、入会、開催決定内容、実行委員会、準備等は。

答 村長 全国棚田連絡協議会へは平成26年に個人会員の当村在住の吉田忠文さんの推挙もあり、自治体会員として入会。27年8月にサミット開催地選定委員長の早稲田大学中嶋名誉教授他が来村し、強く開催要請を受けた。田んぼオーナー制度の取り組みや、24年には中谷郷の棚田復活で、棚田学会賞を受けるなど棚田を取り巻く地域の動きがあったから承諾し、27年開催の佐賀県玄海町での総会で正式開催決定した。

開催目的や狙いは①棚田オーナー制度などで集落で取り組む当村の農業実情。②全国各地で棚田を守るた

め活動している方々の意見交換。③観光地としての当村を知っていただき、再訪をしていただくため。

内容は9月7日に総会。8日の午前からオープンニング、開会式、事例発表等行い、午後はテーマ毎の分科会、夜は交流会。9日は全9コースの観光ツアー後に閉会式の予定。開催予算は2100万円で500人の参加費と1400万円の当村単独費の見込み。

実行委員会は28年6月に組織し、長に村長、議会、農業委員会、農業団体、長野県、JA等の関係者を委員として7回開催し、佐渡市や長崎県波佐見町のサミットを視察した。今後の準備は6月中に内容の最終決定と全国へ案内の送付等して7月より参加者受付の予定。主会場の社会体育館のある母池関係者等多くの方々に協力を依頼し、全国からの参加者に満足していただけるようにしたい。

将来を見据えた少子化 対策について



猪股 充拡 議員

問 平成30年の出生数によると平成36年小学校児童102名。いよいよ100名を切りそうな状況だ。そこで少子化対策として5年後、10年後を踏まえた村の考えを伺う。

答 1クラス15名、全校100名を切ってきた場合の小・中学校の運営について。
教育長 小谷小・中に今後、在籍予定の児童生徒数の推計値では、決して楽観視できる人数ではないが、27年5月の推計時に比べると、若干減少数はなだらかになってきた

る。28年に設立した保小中12年間の連携を目指した『おたり学校園運営委員会』の活動『保小中合同会議』を通じて、一貫型教育を推進して生徒数の極端な減少を食い止めていきたいと考えている。

答 保育料の減額や公営おたり塾の運営、中学生の海外交流研修事業、さらには高校生への保護者に対する通学費助成など特色的な行政の推進により子育て環境の充実を図りながら離村者を食い止め、移住定住者を確保していく努力をしていきたいと考える。
問 村内でも多くの山村留学卒の方々が活躍されているが、山村留学の復活は検討できないか。
教育長 平成27年の定例教育委員会得

られた結論から言うと、児童数の増加に伴い教育効果はある程度期待できるものの中土小のように複式学級が解消され、教員が増えるといったメリットが今の小谷小では見込めない。山村留学の導入は現時点では時期尚早。研究や検討は今後もしていくが、子どもだけを受け入れる山村留学については、当分の間導入はしないという結論に至っている。

問 村の環境を活かし移住希望者にも喜んでもらえる子育て支援ルールの建設は。
教育長 30年度建設を当初目指していた

が、建設事業費が多額になることが判明し、計画を一時取り止めたことをご承知のとおり。少子化傾向の中で建設後の有効的な利用が見込める見通しが立たなければ村の人口が減少する中でハードの施設建設は難しいと考えている。乳幼児の

保護者や保育士からも建設に対する意見要望をしっかりと聞いたうえで改めて考えたい。8月に予定している総合教育会議までには結論を出したいと考えている。

特産品としての小谷野豚について

問 昨年の大量死の検証結果は。

答 村長 長野県家畜保健所、全農長野などで原因究明を行った結果、

確定はできないが導入後10日間ほどの気温が異常に高温であって、SPF豚舎から出てきた子豚が環境に対応できなかつたという推測に留まり究明するに至らなかった。解剖などの結果では害虫・伝染病などの外的要因はみられなかつた。

問 生産者の育成・放牧場の貸し出し等は検討できないか。

答 村長 特産品としていくためには飼育者の育成は急務で新規飼育者にとつては放牧地が大きな



とつても貴重な小谷の野豚

課題である。7月下旬から来馬河原南部の土地をお借りし、新たな飼育ほ場の確保調査と、新規飼育の育成を目指したいと考えている。

問 野豚及びジビエの加工生産施設が建設できないか。

答 村長 食品衛生法に基づいた施設を建設することになる。建設後の運営・管理が大変だろうと思う。食肉製品製造業では「食品衛生責任者」と「食品衛生管理者」が必要であり、特に管理者の場合は、資格を得るためのハードルが非常に高くなっている。まずは人材確保が課題の一つだ。

白馬乗鞍地区の 観光開発について



吉澤 学 議員

問 白馬乗鞍以外に、このような事例が発生するか。

答 村長 第1弾が里見地区であり、その後

問 経営が破綻した時は責任が発生するが。

答 村長 所有と運営を分離して考え、運営

問 初期投資3千万円、事業費3億円で済む

答 村長 設立資本1000万円。用地取得2億1000万円。

のか。

資金利子5年分3250万円。最大2億5250万円の総予算。運営会社、小谷GIC(株)分として、

資本金1000万円。利子補給6500万円。最大7500万円。合計3億3000万円。

問 綿密な計画を立ててほしい。

答 村長 富裕層向けスキーリゾート。また、

問 日本初の会員制古民家スキー場直結高級リゾート別荘として再開発する。

答 村長 役場2階206号室。

問 事務所の場所は。

答 村長 役場2階206号室。

問 東側一帯の活性化について

答 日番、黒川まで東側一帯の村道の拡幅を。

のか。

答 村長 村道整備、黒川線2か所、大久保線改良拡幅また宮本踏切、伊折間の早期完成を目指している。また国道148号

の迂回ルートとしての機能もあり改良、拡幅を検討している。

問 子育て支援について

答 小谷村は予算の7%強、高い所では17%位あるが、考えは。

問 村長 各自

答 村長 各自

問 人口規模や産業構造により大きく違う。(下記参考)

答 村長 各自

問 村で牛、豚、ニワトリを飼

答 村長 村で

問 堆肥を使った野菜作りは。

答 村長 村で

ではないが、現実的ではないと考える。

問 バイオマス事業について

答 住居近くにある杉の木を燃料にバイオマス事業をやればどうか。

問 村長 伐採して運び

答 出された自然木は、

労務費も高く買い取る場合もコスト高で現時点ではバイオマス事業の健全性は見込めない。その中で支援できる具体的な要望があれば考えていく。



測量がすすむ宮本伊折線

市町村名	小学校児童数	児童一人当たりの教育費総額	中学校生徒数	生徒一人当たりの教育費総額
小谷村	123名	603,488円	76名	586,658円
白馬村	442名	285,943円	232名	432,220円
池田町	463名	355,220円	274名	461,139円
松川村	518名	238,811円	306名	311,320円
県市町村平均	112,080名	346,287円	59,273名	578,760円

平成28年度調査

過去7年の成果と 任期残り1年の目標は



藤原 賢司 議員

問 過去7年の成果と残り任期の目標は。

答 村長 国道小谷道路の完成、雨中月岡パイパスの工事着手。3市村の新ごみ処理施設の稼働。地域おこし協力隊員や集落支援員の制度の活用。小さな拠点、加工貯蔵施設が実現可能となったこと、子どもたちの教育、子育ての支援ができたこと、村債の減少、基金の増額などが成果と思う。

残存任期の目標は、小さな拠点施設や加工貯蔵施設、観光等再開発事業の進展に努力する。

け、資産整理業務を進めており、これが完了すれば資産台帳により工事区間ごとの経過年数等の実態がリストアップできる。

問 来年度は村長選挙が行われる。舵取り役としての村長に求められるミッションは何か。

答 村長 村長としての役割は、村の広告塔であり、全ての言動に責任を持ち、そして責任をとる。村政全般の方向、職員が行う仕事の判断・決断、村単独で難しければ、広域連携での判断・決断になる。

問 簡易水道の現状と今後の対応を問う

答 村長 「水道情報管理システム」により、おおよその管路の位置や種別整備年代等はパソコン上で確認できる。

また、平成32年度からの公営企業会計への移行を受

人口減少に伴う維持費、個人負担割合など事業費の財源見直しは。

答 村長 加入者に過大な負担をかけることは難しく、値上げの議論は時期尚早と考える。なお、平成28年度末現在、村営水道施設整備基金として5億1千9百万円、村営水道施設減価償却費準備基金として1億6百万円を保有している。

簡易水道個人負担金等のリスクコミュニケーションの考えは。

答 村長 総合的なリソースの議論・周知について今後検討していく必要がある。水道設備の維持管理に伴う課題は多く、1つ1つ対応している現状だ。

小谷の身近な珍しい植物を、子どもたちに伝え教える必要性について。

答 教育長 『長野県小谷村の植物』には、希少種も含め小谷村のほとんどの植物が網羅されているので、参考にしていただきたい。子どもたちには、塩の道遠足などで、身近な植物を観賞し学べるような機会を校長先生とも相談し検討したい。

小谷村版レッドデータブックを作成する必要性は。

小谷村版レッドデータブックを参考目録(2014年)を参考にする。をつくることは可能と思うが、相当な調査期間と事業費が必要であり、当面は目録づくりに取り組んでいきたい。

塩の道に植物の標識板を置くことで、違った角度からの塩の道祭りの楽しみ方、宣伝ができる

教育改革 観光振興課や観光連盟とも相談し、民間の方々の協力も得ながら教育委員会として、ともに取り組んでいきたい。

行革も含め新しい部署、総合的に対応できるシステムづくりが必要と思うが。

村長 「子育て世代包括支援センター」の立ち上げについては平成32年度までの努力義務であるが、小谷村の出生者数は年間20人ほど、その中から相談業務が必要になる対象者は0〜数名と考えられる。子育て世代包括支援センターを組織化するだけでもコーディネーターや保健師の確保が必要となるので、現在の職員数や人材の確保が難しい状況等も考慮すると、組織を再構築し、新しい部署を立ち上げることは現実には難しい。

11

有害鳥獣対策と ジビエ振興について



北村 利幸 議員

問 有害鳥獣による農作物被害状況は。

答 村長 平成29年度中に役場へ報告及び現地確保をした鳥獣被害の状況は、面積で106ha、被害想定金額約361万円となっている。

役場へ報告のない被害も多数あると予想され、被害はこれ以上となる。

問 防護柵・電気柵等の資材購入実績・補助金は。

答 村長 平成29年度の購入実績は、申請数33件、内訳は個人が22件、団体11件で、補助金総額は

約253万円となっている。また、村ではイノシシ捕獲檻5基、くくり罠15基、大型猿捕獲檻1基を購入し、猟友会など資格者に設置を依頼し、捕獲をしている。

問 防護柵及び電気柵等、設置補助金は個人購入の場合は2分の1、

団体または2人以上の個人が購入する場合は10分の8の補助となっているが、地域の実情によっては個人でも8割補助としてはどうか。

答 村長 電気柵の設置に対する補助金は平成23年から年間2百万円を超える補助をしている。村では規定に基づき、申請を受け付けているが、購入希望のある方には、『ご近所同士で実施すれば8割の補助が受けられる』と案内して

いる。村も個人での防衛より集落や近隣住民全体での対策を進めている。地域の実情によって個人でも8割補助とする提案については、すでに30年度は現行制度で始まっているため、今年中に個人での申請農地や被害農地状況の精査をして、次年度までに結論を出す。

問 村長あてに猟友会3支部長の連名でジビエの食肉加工施設及び食肉販売施設建設の陳情書が出されたが、小谷村を訪れた観光客等に提供するなど、観光振興にも結び付く。ジビエ振興対策として建設をすべきではないか。

答 村長 解体処理施設は、信州ジビエ衛生管理ガイドラインにより、作業場の構造や設備基準など明確にされている。資格

等は、食品衛生法で定められた食肉処理業の許可が必要で、この許可により解体・肉や内臓等を分割し細切れなどにできる。猟友会員の労力、負担軽減や衛生的な面からも施設を有することが望ましいと考える。

解体処理施設で処理された食肉を、ジビエとして販売まで行うには食肉販売の営業許可施設が必要で、こちらも規定された設備を有することが必須となる。

問 食肉販売業の許可や食品衛生責任者の有資格者が必要である。

施設の建設にあたり、必要性は十分に理解できるが、施設にも当然管理責任者があつての施設運営となり、他地区の事例からも、捕獲

数が少なく施設の稼働率が良くないというケースが多々報告されている。どのように管理運営していくかも検討し、ある程度管理体制が確立できる状況になれば、実施すべきと考える。担当課と十分に協議し、特産として集客できるような効果が現れることを期待し、建設について前向きに考える。関係者で議論、提案してもらいたい。



おりにかかったサル

住民参加でくらしと経済を元気に



曾根原恵子 議員

里見再開発事業

村民へ納得の説明を

問 説明会を里見地区に限定した理由は。

答 村長 投機目的の資本に取得される最も緊急性の高い地区と考えた。里見地区から着手し、他の地域にも展開する。

問 事業説明がなく、不動産会社の売買交渉が先行し、地域に戸惑いが広がっている。

答 村長 説明不足は申し訳なく思っている。まだ理解できない方もいるので、今後引き続き説明会を行う。

村営住宅整備工事 集落活性化に

問 集落活性化にどうつなげるのか。また住宅施工は地元業者に。

答 村長 観光地の働き手の確保と移住者の住宅確保は喫緊の課題。入居者には柵池地区会加入などを入居資格とする。

問 工期短縮やコスト削減のため設計・施工一括方式とし、協力事業者は村内業者優先の条件をつけた。

答 村長 各事業者は自己資金・村・県の制度資金で対応すべきで創設は考えていない。

問 「店舗版リフォーム助成制度」の創設を。

答 村長 観光資源の土地が失われて、将来の選択肢がなくなる恐れがある。このタイミングを逃さず「再出発する小谷村」を村民に示す必要がある。

柵田サミット開催 村民参加で成功を

問 参加者の宿泊案内は。宿泊業者への情

報提供をどのようにするか。

答 村長 案内窓口は村観光連盟と大町の旅行会社。村内宿泊を配慮した宿泊案内をする。

問 特産品販売とブースの募集はどう計画しているか。

答 村長 メイン会場の柵池体育館前に10張り程度を予定。県や農文協から出店の意向があった。サミットにふさわしい団体の出展を呼びかける。

問 高校生、大学生ボランティアの依頼状況は。

答 村長 白馬高校生、小谷小・中学生、分科会で協力いただく信州大学・東京農業大学の学生に依頼している。

問 具体的分担はこれからだが、「若い力」で活気ある小谷を演出したい。

問 見学分科会では地元ガイドやスタッフの協力が不可欠。依頼状況は。

答 観光振興課長 観光ルート9コースを計画。観光連盟の企画でガイドを要請し、バスで移動中の地域紹介などは村民に関わっていただく。

応援スタッフは県職員・JA職員など関係団体に依頼し、運営に必要なスタッフ数を確保する。



藤島、柵田オーナー 素足が気持ちいい!

わたしのひとこと

新人村議会議員

吉岡 久人

愛する村の発展、村民の皆様が元気に安心・安全に暮らせるよう頑張ります。

さて、6月17日(日)に村消防団ポンプ操法・放水競技会、ラップ吹奏会に消防委員として、参加させていただいた。

好天に恵まれ、北アルプスに残雪が映える会場の梅池社会体育館駐車場には、団員の熱い熱気が充満していて、「火点は前方の標的。定位置につけ」、「よし」で選手は一斉にきびきびした動きを見せて頼もしく見え、また、審査員の消防署員とも情報交換で



「放水始め」で猛ダッシュ

き、充実した1日となった。

翌朝、大阪北部でプールのブロック塀が倒れて登校中の9歳女兒が下敷きとなる震度6弱の地震があり、「各地で相次ぐ災害の記憶を風化させないよう消防活動を励み、郷土の誇りと地域

新人村議会議員

吉澤 学

小谷村議員になり、大変な責任を感じます。

村民ひとりひとりのどんな小さな声も、村政に届けたいと思います。

の期待を胸に訓練の成果を遺憾なく発揮し、競技することを誓います」との選手宣誓を思い出した。



直売所

小谷村が住みやすい村になるように頑張ります。また、子ども、身体障がい者、高齢者、母子家庭、低所得者等、生活弱者に行政が手を差し伸べる対策を考えていきたいと思っています。

野菜作りができない人のために、自身がJAおたりの店頭で無人販売している野菜の直売所があります。安全・安心・安くをモットーに直売しています。

編集後記

4月の村議会議員選挙で新たに新人議員が2名加わり新体制の議会が始まりましたが、村合併以来初の定員割れという事態になってしまったことに、現職議員として大変責任を感じています。もちろん議員報酬や定数の問題もあるとは思いますが、議員活動自体の不透明さが一つの要因ではないかと思えますし、議会改革こそが近々の課題だと思えます。

村民のみなさんに、今まで以上に議会がより分かりやすく身近に感じていただき興味を持っていただくとともに、議会だより編集はより重要と考えています。議会広報委員会と名称も変わり、常任委員会になりました。新たな委員会体制での活動となりますので、今後ともよろしく願います。(議会広報委員長 猪股充拓)